

単元名 **いろいろな意味をもつ言葉**
配当時間 **2時間**

単元の目標 (1) 様子や行動, 気持ちや性格を表す語句の量を増やすとともに, 言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し, 語彙を豊かにすることができる。
 (3) 語彙を豊かにし, 国語辞典で言葉の意味を調べたり, 言葉遊びの詩を作ったりする。

標準的な展開例

04010204_001

【教材名】 いろいろな意味をもつ言葉 (上 P.124～P.125)

【準備等】 国語辞典, 「とる」(川崎洋) が掲載されている本

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
1 「とる」の詩や例題を読み, いろいろな意味をもつ言葉があることを知る。 ★ いろいろな意味をもつ言葉を調べよう。 ○教科書(P.124)「とる」の詩の一部を読んで, 気付いたことを発表する。 ○それぞれの「とる」を動作化する。 ○それぞれの「とる」を他の言葉に代える。 ○教科書(P.124～125)の例題に取り組む。 2 いろいろな意味をもつ言葉を使って, 言葉遊びの詩を作って発表する。 ★ 言葉遊びの詩を作って発表しよう。 ○多義語を使った言葉遊びの詩を作る。 ・あがる ・ひく ・つく ・かける ・みる ・いる ○作った詩を発表する。 ○学習を振り返る。	・「とる」にはそれぞれいろいろな意味があることに気付かせる。 ・「とる」の詩の続きを紹介し, 多義語について興味をもたせる。 【評】 多義語を動作化したり, 他の言葉に代えたりする活動を通して, 語彙を豊かにする「知識・技能」を評価する。 ・他の意味を調べるときには, 国語辞典を使うと便利であるということを指導する。 【評】 国語辞典を使って多義語を調べる活動を通して, 「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・学級の実態に応じて, 個人で行うかグループで行うかを設定する。 【評】 詩を作る活動を通して, 言葉の性質を理解して使う「知識・技能」を評価する。 ・発表を聞くだけでなく, 作った詩を動作化したり群読したりして, いろいろな多義語に触れる機会をつくる。 ・発表を聞いて気付いたことや知ったことを発表し, 全体で交流する。

【 備 考 】